

平成 20 年度事業の進捗状況 (平成 21 年 1 月 30 日現在)

鞍掛山麓千枚田保存会

- 1 鞍掛山麓千枚田保存会 平成 20 年度総会の開催
平成 20 年 5 月 24 日(日) 連谷会館
- 2 役員会の開催
5 月 10 日(土)、7 月 25 日(金)、1 月 30 日(金)
- 3 千枚田周辺環境整備活動の実施
5 月 30 日(土) 草刈作業、9 月 7 日(日) 草刈作業
- 4 保存に関する情報活動の実施
第 14 回全国棚田(千枚田)サミット参加
期日: 10 月 16 日(木)~18 日(土) 場所: 長崎県長崎市・雲仙市 6 名参加
- 5 千枚田の啓発普及活動
「四谷の千枚田だより」の発行 (毎月 15 日発行)
名古屋北ロータリークラブ(養護施設慈友学園招待)千枚田体験事業の受け入れ
5 月 18 日(田植え体験、田舎おもしろ体験)、8 月 9 日(案山子づくり)
9 月 7 日(稲刈り、田舎おもしろ体験) 協力: 連谷お助け隊ほか
豊橋調理製菓専門学校千枚田活動事業(育農授業)の受け入れ
5 月 15 日(田植え)、6 月 5 日(生育調査)、6 月 26 日(田の草取り)、8 月 9 日
(生育調査)、8 月 21 日(案山子づくり)、9 月 11 日(稲刈り、五平餅づくり)
10 月 9 日(脱穀・感謝祭)
三河の山里ツーリズム事業の受け入れ 主催: 愛知県企画部地域振興課
5 月 17 日(田植え)、7 月 5 日(田の草取り)、9 月 13 日(稲刈り)
その他の事業、行事等
(1)「ふるさと水と土指導員」活動支援物資(植樹用苗木、ロウソク、篝火台、高
梯子、高枝切り他) 愛知県から支給を受ける
(2)横浜ゴム新入社員研修
4 月 4 日(ふれあい広場環境整備及び千枚田概要説明) 協力: 連谷お助け隊
(3)三ヶ日中学校の宿泊体験学習(田植え体験) 5 月 20 日
(4)こども農学校への協力(田植え、田の草取り、稲刈り)
主催: JA 愛知東 対応: 高橋庄一顧問
(5)お田植え感謝祭「千枚田を灯そう」事業への協力
6 月 7 日 主催: 連谷お助け隊
(6)連谷お助け隊地域環境整備活動への協力 7 月 13 日
(7)新城市環境セミナー受講 8 月 19 日(新城文化会館) 8 名出席
(8)アストラゼネカ社社会貢献活動受け入れ 10 月 7 日
(AZ 社員 105 名、地元 35 名、鳳来総合支所 6 名) 協力: 連谷お助け隊
(9)棚田米出荷 10 月 25 日
(10)横浜ゴム 蕁販売事業 11 月 5 日(蕁の出荷)
(11)「農林水産フェア」参加 11 月 7 日~9 日 名古屋市「吹上ホール」
(12)ふるさと水と土指導員全国研修会 11 月 18 日・19 日 受講: 小山舜二
(13)第 3 回東京棚田フェスティバル 11 月 22 日・23 日 参加: 小山舜二

上記のとおり、保存会主催及び関連事業・行事を実施したが、その他においても、事業・行事の打ち合わせを保存会役員で、また、各種事業に於ける現地見学の説明案内及び各種報道機関の取材等に対応した。

四谷の

千枚田だより



第 66 号

鞍掛は冬の北斗の柄の下に
椀と馬酔木黒文字 鯛かな

四谷柳二
しんまじょ



棚田ネットワーク現地視察

一月三十一日、棚田ネットワーク事務局の木戸、芝田さん、会員で米屋の中崎、扇田さんは大阪から、岐阜坂折棚田で活躍する相田先生が千枚田に集結。保存会の小山(泰会長)、村雲、林理事、松下事務局と(舜)が保全活動、概要説明を行った。また、宿泊先の「やまびこの丘」でそれぞれの想いに忌憚のない意見交換会を催し、第十五回棚田サミット「十日町市」での再会を誓った。



翌日、午前中は芝田さんの取材に
応じ、午後、設楽町「長江の棚田」、
新城市「上島田」の棚田を案内、豊
川稲荷までお連れした。

礼状抜粋

・調査では二日間、ご案内して頂き
ありがとうございました。三力所の

棚田を見学し、改めて四谷の千枚田
は整備されている上に地元の方々
が元気に耕作しているものと、感
じました。これからも千枚田と地元
の方が元気でいて下さる事が何よ
りだと思えました。棚田ネットワー
クでは、今年度から調査プロジェクト
を立ち上げました。四谷の皆様と
これからも交流を深め、保全活動の
お手伝い出来る様に努めてまい
ります。

棚田ネットワーク芝田涼子(埼玉)

・長江の光景は淋しいですね。それ
に引き換え上島田の棚田はきれい
でした。四谷の千枚田の豪快な力強
さとは対照的に楚々とした優しい
感じを受けました。十日町市サミッ
ト会場でお待ちします。

棚田ネットワーク木戸幸子(横浜)

地域起こし

一月二十八日、設楽町名倉地区営
農推進協議会と愛知県新城設楽農
林水産事務所農業改良普及課は地
域営農活動促進指導事業の一環と
して「宝に育て！地域起こし」の研
修会をこゝ愛知東名倉出張所会議室
で開いた。

この、研修会で「四谷の千枚田か
ら地域起こしに取り組んで」と題し
小山舜二が講演、また、地域の活性

化に取り組む愛知県ふるさと水と
土指導員の後藤千里さん、原田陽子
さんが「私の思っている名倉」を発表した。
愛知観光大学
二月二日、「第八回愛知観光大
学」(穂積亮次学長)が新城大谷大学
講堂で開講され、市観光課より受講
依頼のあった「連谷お助け隊」から
小山舜二が受講した。

COP10
二月七日、新城文化会館に於いて
愛知県・新城市主催のCOP10愛知
県生物多様性キャラバンセミナー
「森の管理とサル等による農業被
害対策と生物多様性について」が開
かれた。
プログラムは、穂の国森づくりの
会 原田敏之理事の「森の管理につ
いて」、京都大学霊長類研究所 渡邊
邦夫教授の講演に続き「生物多様性
とCOP10について」愛知県環境部
環境政策課 国際会議準備室 酒井
祥巨課長補佐の説明があった。



講師と選手達

第一限は沈滞した浜名湖周辺の
集客増大の成功事例。第二限は浜松
東三河フェニックスの活躍が起因
した応援、集客が地域の活性化に及
ぼす影響など、大変興味深い話しで、
一つの宝(千枚田)を核にした「むら
づくり」などに役立つ講義であった。

四谷の千枚田、連谷地区は生物多
様性に富んだ地域であるが、サル、
イノシシなどの害獣被害に悩まさ
れている。

その対策、手法を学ぶため、新城
青年の家、音羽文化センター、七日
の新城文化会館等で開催された害
獣対策研修会に地区有志が積極的
に参加。「明るいまらづくり」に励
んでいる。

参加者 原田武典分館長、村雲宣
充四谷区長、保存会 今泉雅男、(舜)

行 平成二十一年二月十五日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二